

道の駅と地域の連携による地域活性化と利用者ニーズ

長岡技術科学大学大学院 環境社会基盤工学専攻 非会員 谷澤明日菜
長岡技術科学大学大学院 環境社会基盤工学専攻 正会員 佐野可寸志
長岡技術科学大学大学院 環境社会基盤工学専攻 正会員 川端光昭
長岡技術科学大学大学院 環境社会基盤工学専攻 正会員 伊藤潤

1. はじめに

(1) 背景

近年、自動車による長距離旅行者や女性ドライバー、高齢者ドライバーの増加といった要因によって、一般道においても休憩施設の必要性が高まってきた。こうしたニーズを受け、平成4年に建設省（現国土交通省）が幹線道路における休憩施設として道の駅の整備を開始した。

道の駅は全国で年々増加しており、平成5年4月に全国103ヶ所の道の駅に対して登録証の交付がされ、現在では1093ヶ所の道の駅が全国に設置されている（H28年5月時点）。

道の駅は休憩機能、情報発信機能、地域の連携機能等の3つの機能をもつ地域とともに個性豊かなにぎわいの場や、地域の玄関口として期待されている。地域の玄関口として道路情報や歴史・文化、名産品や観光地などを紹介する案内板や資料館、物産販売コーナーなどがあり、さらに郷土芸能や朝市・展覧会などのイベントも催され、様々な情報を発信して、利用者との交流を図ることで道路利用者の休憩施設であるとともに、利用者とのふれあいの場“地域の顔”となる施設として整備されている。また、地域情報を発信し、道の駅利用者の地域への立ち寄りを促進することで地域活性化等の効果も期待されている。しかし、道の駅は単なる通過点として認識され利用されることが多いのが現状である。

(2) 研究目的

本研究は、道の駅のもつ休憩機能、情報発信機能、地域の連携機能の3つの機能の中から、地域の玄関口としての情報発信機能に着目し、利用者の基本的な属性や、どのような情報があれば道の駅から周辺地域へ立ち寄りたいと感じるのか等を小千谷市の道の駅利用者を対象にヒアリング調査によって把握する。このヒアリング調査の結果から道の駅への需要や道の駅と周辺地域が連携したサービスについて、利用者ニーズを把握し、地域活性化方策検討の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 利用者実態調査について

上述した研究目的により、新潟県小千谷市の道の駅ちぢみの里おぢや利用者を対象に、利用者実態調査を行った。道の駅ちぢみの里おぢやの選定理由としては、道の駅と市街地が約5kmの距離であり、地域との連携によっては多くの利用者の立ち寄りが期待されるからである。2016年8月6日から2016年9月11日までの土日を中心に道の駅ちぢみの里おぢやの道路情報ターミナル前で利用者にヒアリング調査を行った。回答数は245サンプルであった。

図-1に道の駅ちぢみの里おぢやの周辺図、回答者の基本的な特性を、図-2、図-3、図-4、図-5に示した。図-2より、道の駅利用者は、男女共に40、50代以上が半数を占めているのに対し、10~30代の利用者は少ないことが分かる。図-3より、利用者の出発地は市外が多く、目的地は市内である利用者が半数を占めている。また、図-4では、利用者の半数がトイレや休憩を利用目的としていることが分かった。道の駅ちぢみの里おぢやは道の駅と温泉施設が併設されていることが大きな特徴であり、温泉を利用目的としている利用者も10%程度となっている。図-5より、初めて利用する人が50%と高い割合を示しており、他の項目からも利用頻度はあまり高くないことが分かる。



図-1 道の駅ちぢみの里おぢや周辺図

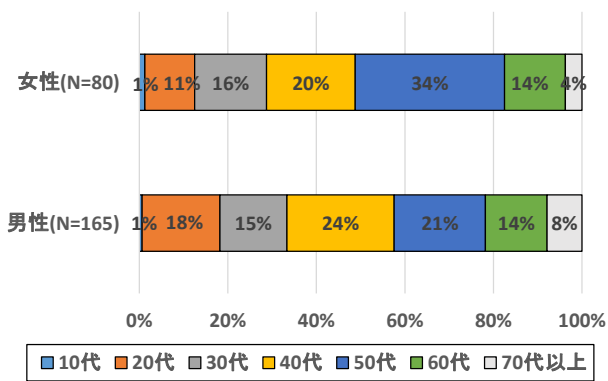


図-2 年齢と性別

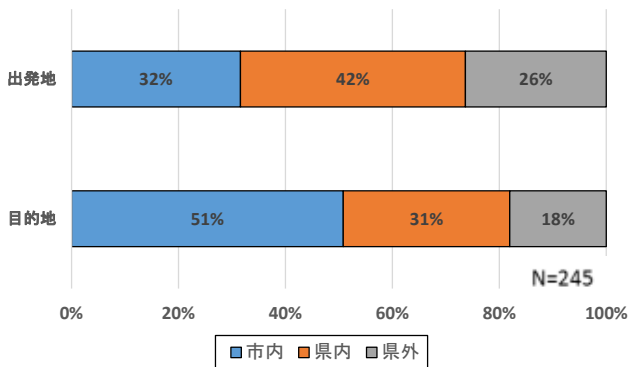


図-3 出発地と目的地

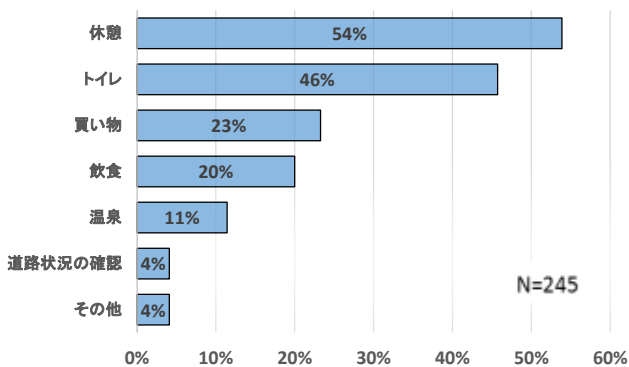


図-4 利用目的(複数回答)

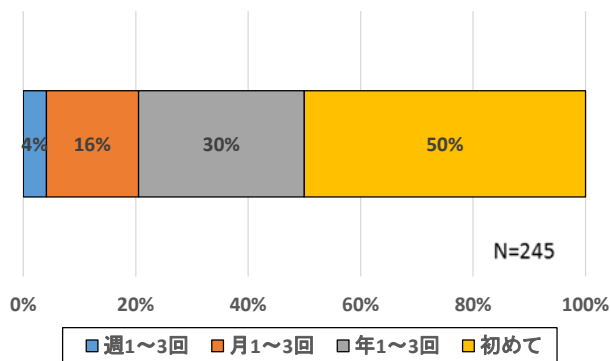


図-5 利用頻度

図-6は、道の駅でどのようなことが行われていたら道の駅に立ち寄りたいと感じるか、図-7は、利用者が道の駅に立ち寄った際に知りたい地域の情報を示したものである。図-6、図-7から、地域の飲食店や土産店の情報が求められていることが分かる。更に図-7からは、地域の観光スポットの情報を知りたいと感じる人が多いことが分かった。地域の観光スポットや店舗情報等の地域情報を知りたいと感じる人が多いことと比較すると、周辺道路情報や周辺の道の駅の情報を知りたいと感じている人は少なかった。

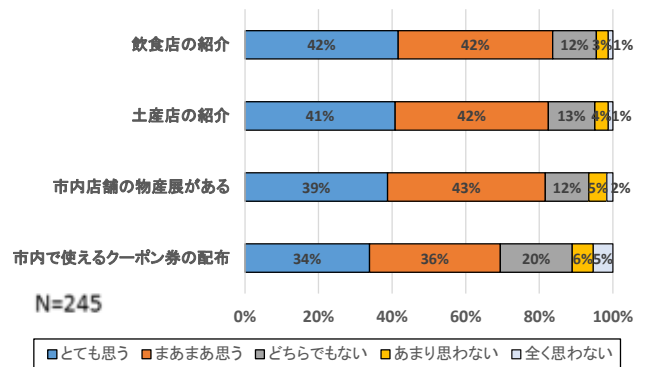


図-6 どのようなことが行われていたら道の駅に立ち寄りたいか

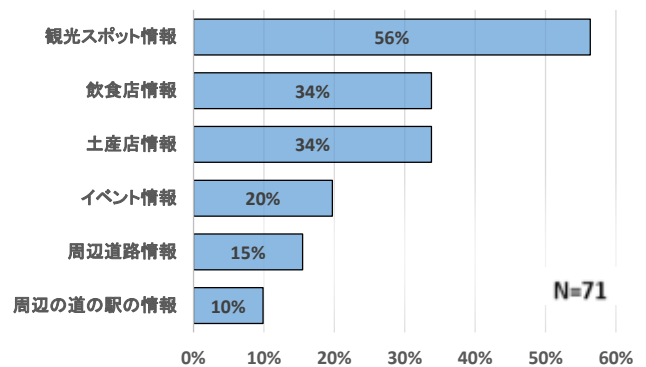


図-7 道の駅で知りたい情報(複数回答)

図-8は、地域の店舗で値引きサービスが行われている場合と行われていない場合でどの程度立ち寄り意思が変化するかを示したものである。値引きがある場合は40%程度の人が店舗への立ち寄りを考えるが、値引きがない場合は10%程度と立ち寄りたいと感じる人が大幅に減少することが分かる。

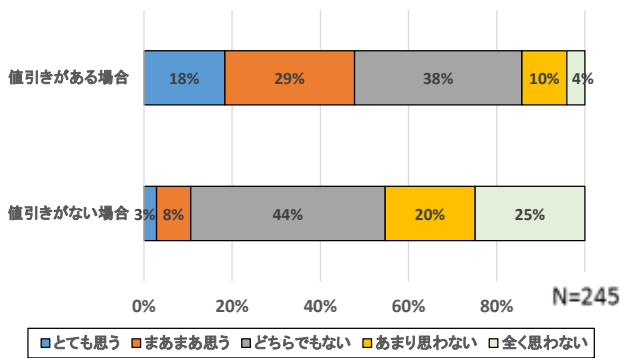


図-8 市内の店舗へ立ち寄りたか (値引きサービスがある場合, ない場合)

図-9 に、道の駅でどのような情報があれば地域へ立ち寄りたいと感じるか、図-10 に、どのような状況であれば地域へ立ち寄りたいと感じるかを示した。地域の名物を販売している、オリジナル商品が販売されている、地域の有名な店舗である、良い評価の口コミがあることなどの情報があれば利用者の半数近くが地域への立ち寄りを考えるということが分かる。地域の名物、オリジナル商品、地域の有名な店舗であることなどは地域特有の商品などへの期待から立ち寄り意思を向上させているように思える。これらと比較すると、おすすめ商品が紹介されている、商品の価格情報がある、商品の品揃えの情報がある等の店舗の情報についてはあまり求められていないことが分かる。

図-10 からは、店舗から目的地が近いことや目立つ場所に立地していることが立ち寄り意思を向上させていることが分かる。周辺に観光スポットがある場合も多くの人々が立ち寄りを考えているが、周辺でイベントが行われていることや周辺に多くの店舗があること等はあまり利用者の魅力には繋がっていないことが分かった。

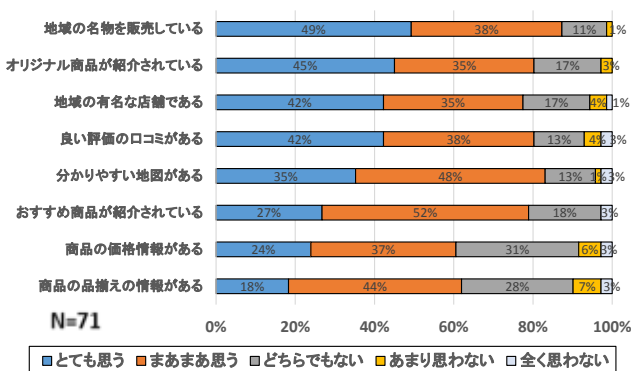


図-9 どのような情報があれば地域へ立ち寄りたか

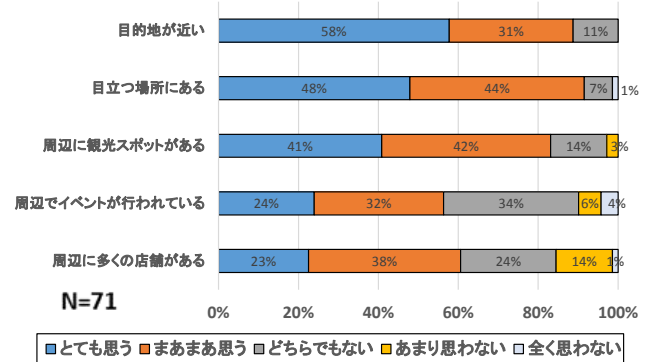


図-10 どのような状況であれば地域へ立ち寄りたか

3. 分析結果

道の駅利用者の地域への立ち寄り意思を促進する共通因子を明らかにするために、因子分析を行った。

因子分析により、道の駅でどのような情報があれば地域へ立ち寄りたか(図-9)、その場所がどのような状況であれば立ち寄りたか(図-10)、という設問から因子の抽出を行った。因子分析の結果を表-1に示す。因子としては、アクセスのしやすさ・商品の魅力の情報、地域特有のものであること、周辺状況の魅力、店舗の詳細情報があること、人からの評価の5つの因子が抽出された。1つ目の共通因子ではアクセスのしやすさに関連する項目と、商品の魅力に関する項目の2つの項目が共通因子として抽出されてしまっているが、その他4つの因子は共通因子として項目にまとまりがあることが確認できた。

表-1 因子分析結果

	因子				
	アクセスのしやすさ、商品の魅力の情報	地域特有のものであること	周辺状況の魅力	店舗の詳細な情報がある	人からの評価
目立つ場所にある	.890	-.111	.272	-.090	-.125
おすすめ商品が紹介されている	.582	-.002	-.078	.057	.156
分かりやすい地図がある	.555	-.029	-.214	.173	.186
オリジナル商品が紹介されている	.320	.234	-.096	-.121	.095
目的地に近い	.220	.088	.101	.116	.035
地域の名物を販売している	-.089	1.017	.046	.083	-.060
地域の有名な店舗である	.078	.613	.031	-.016	.327
周辺でイベントが行われている	-.228	.012	.830	-.010	.088
周辺に観光スポットがある	.156	.259	.540	-.059	-.110
周辺に多くの店舗がある	.180	-.147	.480	.172	.098
品揃えの情報がある	-.056	-.050	.115	1.011	.045
商品の価格情報がある	.235	.216	-.129	.476	-.257
良い評価の口コミがある	.157	.100	.059	-.071	.922

因子抽出の方法：最尤法

回転方法：プロマックス

4. まとめと今後の課題

現地でのヒアリング調査から、道の駅ちぢみの里おぢやの利用が初めてであるという回答者や出発地は市外からという回答者が多く、利用目的はトイレや休憩に立ち寄っただけであるという回答者が多くを占めていた。しかし、今回の調査によって、道の駅で様々な地域情報を発信することが利用者の地域への立ち寄り意思を向上させるということが分かった。特に、地域の観光情報や地域の店舗情報、地域特有のものに関する情報があれば立ち寄りたいと感じる人が多く、情報発信の方法によっては多くの立ち寄りが期待できるのではないかと感じた。

現段階では道の駅利用者のみに対するヒアリング調査を行ったが、今後は道の駅の周辺店舗や観光スポットの運営者等を対象に、道の駅と連携したサービスで、どのようなサービスであれば持続的に取り組めるものであるか把握するためのアンケート調査を行いたい。

参考文献

- 1) 道路：道の駅案内 - 国土交通省
<http://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/outline.html>
- 2) 「道の駅」の3つの機能
- 国土交通省近畿地方整備局
http://www.kkr.mlit.go.jp/road/michi_no_eki/contents/mitiekiinfo/index.html
- 3) 佐久間勇樹, 道の駅の利用実態と利用者満足度に関する研究, H22,長岡技術科学大学大学院, 修士論文

謝辞

本研究を進めるにあたり、国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所、道の駅ちぢみの里おぢやから道の駅を調査の場としてご提供いただきました。この場をお借りし、感謝申し上げます。